

日本海ガス株式会社  
2026年1月29日

## 原料費調整（スライド）制度に基づく 2026年3月のガス料金について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて弊社では、原料費調整制度に基づいた都市ガス従量料金単価の調整を、下記のとおりとさせていただくことになりましたので、お知らせいたします。

敬具

記

■ 「原料費調整（スライド）制度」に基づき、2026年3月検針分に適用される従量料金単価を、2026年2月検針分に適用される従量料金単価に対し、1m<sup>3</sup>あたり+1円14銭（税込）調整させていただきます。

■標準家庭（1か月のご使用量が21m<sup>3</sup>）の場合、ガス料金は月額6,318円（税込）となり、23円（0.37%）お支払額が増加します。

※ 原料費調整（スライド）制度は、都市ガスの原料となるLNG、プロパンの価格変動に対応して、従量料金単価（1m<sup>3</sup>あたりの単価）を、毎月見直す制度です。

今回の料金の算定基準となる2025年10月～2025年12月のLNG、プロパンの平均原料価格を2025年10月～11月の貿易統計確報値、2025年12月の貿易統計速報値を基に算定しますと、平均原料価格は83,930円/tとなります。2026年2月検針分のガス料金調整額を算定した2025年9月～11月の実績平均原料価格に比べ、今回の調整額の算定基準となる2025年10月～12月の実績平均原料価格は、トンあたり1,270円上昇することになります。また、2月に引き続き、政府の支援により18.0円/m<sup>3</sup>（税込）が値引きされていますので、料金調整は上記のとおりとなります。

政府の「電気・ガス料金負担軽減支援事業」の詳細につきましては、資源エネルギー庁の特設サイト「電気・ガス料金支援」をご覧ください。

(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp>)

●2026年3月検針分に適用されるガス小売供給約款料金（消費税等相当額を含みます。）

2026年2月検針分の従量料金単価に対して、+1.14円の調整となります。

料金表	1か月の 使用量	基本料金 (1か月あたり)	従量料金単価(1m <sup>3</sup> あたり)	
			2026年3月	2026年2月
A	0m <sup>3</sup> から10m <sup>3</sup> まで	1,215.61円	268.08円	266.94円
B	10m <sup>3</sup> を超える170m <sup>3</sup> まで	1,694.11円	220.23円	219.09円
C	170m <sup>3</sup> を超える500m <sup>3</sup> まで	10,576.83円	167.98円	166.84円
D	500m <sup>3</sup> を超える	12,721.83円	163.69円	162.55円

※基本料金は変わりません。

※基本料金、従量料金単価とも消費税等相当額を含んでいます。

※2026年3月および2月の従量料金単価は、政府の支援により18.0円/m<sup>3</sup>（税込）が値引きされています。

●2026年3月検針分 お客様への影響額

標準家庭（1か月のご使用量が21m<sup>3</sup>）の場合

2026年3月適用料金 (a)	2026年2月適用料金 (b)	増減(c) (a) - (b)	増減率 (c) / (b)
6,318円	6,295円	+23円	+0.37%

1. 上記の料金は、いずれも消費税等相当額を含む1か月の料金です。

2. 「標準家庭」のガス使用量は日本海ガスの家庭用のお客さまの2016年～2020年の月平均使用量です。

●平均原料価格（円/t）および従量料金単価調整額（円/m<sup>3</sup>）

	2025.10～2025.12	2025.9～2025.11	基準平均原料価格
LNG平均輸入価格（貿易統計値）	83,930	82,650	97,030
プロパン平均輸入価格（貿易統計値）	77,210	76,410	95,050
平均原料価格（LNG換算）	83,930	82,660	97,170

■2025年10月～2025年12月の平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均輸入価格} \times 0.9788 + \text{プロパン平均輸入価格} \times 0.0231 \\
 &= 83,930 \text{円/t} \times 0.9788 + 77,210 \text{円/t} \times 0.0231 \\
 &= 83,934.235 \text{円/t} (10円未満四捨五入) \\
 &= \underline{\underline{83,930 \text{円/t}}}
 \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\
 &= 83,930 \text{円/t} - 97,170 \text{円/t} \\
 &= -13,240 \text{円/t} (100円未満切捨て) \\
 &= \underline{\underline{-13,200 \text{円/t}}}
 \end{aligned}$$

■従量料金単価調整額(1m<sup>3</sup>あたり)の算定

$$\begin{aligned}
 \text{従量料金単価調整額} &= \{\text{原料価格変動額} / 100 \text{円} \times 0.080 \times (1 + \text{消費税率})\} - \text{政府の支援による値引き} \\
 &= \{-13,200 \text{円} / 100 \text{円} \times 0.080 \times 1.1\} - 18.0 \text{円} \\
 &= -29.616 \\
 &= \underline{\underline{-29.62 \text{円/m}^3}}
 \end{aligned}$$

※原料価格変動額100円につき従量料金単価を0.088(0.080×1.1)円調整します。

※調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切上げます。

※政府の支援により、18.0円/m<sup>3</sup>（税込）が値引きされています。

	2026年3月	2026年2月	増減
調整額(円/m <sup>3</sup> ・税込)	-29.62	-30.76	+1.14

以上

本件に関するお問い合わせ

日本海ガス株式会社

管理部料金センター 長谷川

TEL: 076-442-5020